

2026年7月号
信頼を礎に、新しい政治を。

Next ARAKAWA 自民党プレス

どんな事も私たちにお気軽に
相談してください。

自民党荒川区議会

自民党

Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

03-3802-4625

〒116-8501 荒川区荒川二丁目2番3号 5階 自民党控室



水害から区民の命と暮らしを守るために

6月15日に長沢こうすけ衆議院議員の紹介で埼玉県にある荒川調節池の視察に行ってきました。令和元年の台風19号の際は岩淵水門があと数十センチで水が溢れる状況まで追い込まれました。今後、自然災害の規模が大きくなっていくであろうことも踏まえて、より上流で水をプールするための荒川第二・第三調節池の工事が進んでいます。荒川区は水害においては、避難に時間的余裕のある区ではありますが、水害後に水が1・2週間残ると言われているように、決して水はけのよい土地ではありません。今回の視察で得た上流の状況の情報も含め、水害前の対策、災害後の復興といった広い視野で区民の皆様の命と生活を守る対策を提案して行きます。



長沢衆議院議員と自民党区議団

自衛官への敬意と正しい理解を求めて

先般の参議院決算委員会における、自衛隊を志す若者や自衛官に関する一連の発言について、自由民主党荒川区議団として抗議および申し入れを行いました。自衛官は、国民の生命と財産、そして我が国の平和と安全を守るため、日々厳しい任務に向き合ってくださいっている方々です。有事や災害時にも国民のために職務を果たす重責を担う自衛官を、家庭の経済状況だけで一面的に語ることは、自衛官本人だけでなく、退職された方々、自衛官を志す若者、そしてそのご家族の誇りや名誉を傷つけるものです。荒川区にも、自衛官、自衛隊関係者、そのご家族、そして将来自衛官を志す若者が暮らしています。今回のような発言が、自衛官やその家族に対する偏見や差別につながることはあってはなりません。自民党荒川区議団として、今回の発言を重く受け止め、今後同様の発言が繰り返されないよう、正確な理解と敬意に基づいた対応を求めました。



令和8年6月会議で一般質問行いました

障がい者支援、学校建て替え、人材確保、外郭団体改革、再開発について質問

障がい者が親亡き後も安心して希望する生活を送れるよう、グループホーム整備の現状や、本人の状況に合った住まいとのマッチング、軽度の障がいがある方への支援について区の見解を求めました。また、特別支援学校高等部卒業後に支援が大きく変わる「18歳の壁」について、放課後等デイサービスが利用できなくなることで夕方以降の居場所が不足し、本人や家族に大きな負担が生じている現状を指摘。夕方・夜間の居場所やサービスの充実を求めました。さらに、障がい者の就労支援について、特に精神・知的障



もぎ弘議員

がい者の雇用に不安を抱える中小企業への支援や、就労継続支援B型事業所の工賃向上に向けた取り組みを質問しました。次に、学校建て替えに伴い、体育館・校庭・音楽室などを利用しているスポーツ団体や社会教育団体、生涯学習センター利用者の活動場所確保について質問し、工事期間中も区民活動が継続できるよう代替施設の確保や工事手法の工夫、利用者への丁寧な周知を求めました。また、保育所・幼稚園・指定管理者、そして区職員の人材確保について、処遇改善だけでなく、荒川区で働く魅力の発信、若手職員の定着、適切な人材配置ややりがいづくりの重要性を指摘しました。外郭団体については、効率的な運営や区民サービス向上に向けた改革を求め、各団体の今後のあり方について質問し廃止を含め検討するよう要望しました。最後に、西日暮里・三河島の再開発について、進捗状況、施設活用・転売対策など質問しました。

児童相談所の負担軽減、教育施策、防災対策、ごみの減量、青切符制度について質問

外国人をめぐる課題について、生活ルールやマナーの問題を外国人全体の問題として捉えるのではなく、地域や学校、職場など日本のコミュニティと早期につながることの重要性を指摘しました。一方で、外国人児童を含む居所不明児童の調査については、現状国からの依頼で児童相談所が調査を請け負っているが、本来、国が責任を持って入管情報や自治体情報を連携させる仕組みを整えるべきであり、児童相談所に過度な負担がかからないよう、国への予算化要望を求めました。教育施策では、新たな荒川区基本構想を踏まえた教育大綱・学校教育ビジョンの改訂について、荒川区が培ってきた英語教育、ICT教育、学校図書館の取り組みを継承しながら、時代に即した発展を求めました。また、自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置に向けた具体的な検討状況や今後の見通し、台風時等における早期の判断、タブレットを活用したオンライン授業、教員の在宅勤務の可能性について質問しました。防災対策では、備蓄物資の優先順位や協定による供給体制、避難所ごとの具体的な運営マニュアル整備、マンション住民の町会・自治会加入促進について質問しました。さらに、ごみ減量に向けたプラスチック回収の効果検証と雑がみ回収の強化、自転車の青切符制度について、警察と連携した分かりやすい周知、詐欺被害防止、保険適用リスクの啓発を求めました。



鎌田みちてる議員